

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年11月10日

【四半期会計期間】 第95期第2四半期
(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 船越義和

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部本部長 佐塚真弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部本部長 佐塚真弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第94期 第2四半期 連結累計期間	第95期 第2四半期 連結累計期間	第94期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	9,825,854	9,913,361	19,347,773
経常利益 (千円)	522,179	748,677	856,409
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	378,428	495,799	713,993
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	89,318	688,564	754,981
純資産額 (千円)	15,734,130	16,400,111	16,006,946
総資産額 (千円)	22,282,340	22,682,663	22,231,123
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	14.09	18.46	26.59
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	70.9	72.5	72.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	252,034	1,301,746	621,212
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	148,468	572,790	667,245
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	239,397	405,882	773,400
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,965,839	2,413,392	2,083,633

回次	第94期 第2四半期 連結会計期間	第95期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.19	12.29

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策効果もあり好調な企業業績、雇用・所得環境の改善など景気は総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の政権運営の動向、不安定な北朝鮮情勢などの先行き不透明な状況は続いております。

精糖業界においては、消費が減少傾向にあるなか、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食など厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるなか、砂糖は製品の安定供給に取り組み、機能性食品は高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,913百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益535百万円（同21.0%増）、経常利益748百万円（同43.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は495百万円（同31.0%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖

精糖事業においては、菓子、冷菓向けの販売が好調な荷動きとなりましたが、夏場の天候不順もあり飲料向けの販売を中心に伸び悩み、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では効率的な原料調達や製造コストの削減に努めた結果、増益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高6,180百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益705百万円（同2.2%増）の減収増益となりました。

機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、整腸作用に関する機能性表示申請が受理されたことに加え、低糖質ブームが追い風となり、国内での新規採用が増加したことにより増収となりました。切花活力剤「キープ・フラワー」につきましても量販店の売り場拡大やギフト・通販市場の開拓により増収となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品であるゼラチンが伸び悩みましたが、概ね前期並みの売上高となりました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高3,362百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益10百万円（前年同期営業損失50百万円）の増収増益となりました。

不動産

不動産事業の業績は、杉並区荻窪に賃貸用土地を取得した結果、売上高306百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益272百万円（同1.5%増）の増収増益となり、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

その他食品

その他食品は、DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.の製パン事業であります。業績は売上高64百万円（前年同期比25.6%増）、営業損失70百万円（前年同期営業損失54百万円）の増収減益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2.0%増加し、22,682百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ3.2%減少し、9,020百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ5.8%増加し、13,662百万円となりました。これは主に有形固定資産に含まれる土地の増加等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ1.3%減少し、3,772百万円となりました。これは主に買掛金、短期借入金の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ4.6%増加し、2,509百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金負債の増加等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.5%増加し、16,400百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加及び親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ329百万円増加し、2,413百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、1,301百万円（前年同期比416.5%増）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上、たな卸資産の減少等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、572百万円（前年同期148百万円収入）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、405百万円（前年同期比69.5%増）となりました。これは主として、短期借入金の純増減額等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、27百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は100株であります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年9月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
双日株式会社	東京都千代田区内幸町2-1-1	8,153	27.40
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4-9-8	2,459	8.26
鈴与株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11-1	1,902	6.39
和田製糖株式会社	東京都中央区新川2-9-1	1,226	4.12
株式会社静岡銀行 (常任代理人 日本マスタートラ スト信託銀行株式会社)	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	792	2.66
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	758	2.54
小倉運輸有限会社	神奈川県横浜市神奈川区菅田町2334-1	669	2.24
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	新潟県新潟市中央区南万代町3-37	600	2.01
株式会社サカタのタネ	神奈川県横浜市都筑区仲町台2-7-1	563	1.89
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	447	1.50
計		17,570	59.06

(注) 上記のほか、当社は自己株式 2,895千株(9.73%)を所有しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,895,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,838,800	268,388	
単元未満株式	普通株式 13,700		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		268,388	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,100株(議決権21個)含まれております。

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,895,700		2,895,700	9.73

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,782,586	2,112,301
受取手形及び売掛金	2,558,594	2,645,786
有価証券	301,047	301,090
商品及び製品	1,824,765	2,014,679
仕掛品	154,957	135,698
原材料及び貯蔵品	1,472,434	711,611
その他	1,223,667	1,103,672
貸倒引当金	4,109	4,520
流動資産合計	9,313,943	9,020,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	839,796	825,984
機械装置及び運搬具（純額）	995,180	944,714
土地	2,046,860	2,527,435
建設仮勘定	47	15,873
その他（純額）	92,498	83,939
有形固定資産合計	3,974,384	4,397,946
無形固定資産		
のれん	393,946	334,599
その他	80,250	117,953
無形固定資産合計	474,196	452,553
投資その他の資産		
投資有価証券	6,348,699	6,751,590
関係会社長期貸付金	1,876,709	1,830,140
その他	267,900	248,628
貸倒引当金	24,710	18,516
投資その他の資産合計	8,468,598	8,811,843
固定資産合計	12,917,179	13,662,343
資産合計	22,231,123	22,682,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,498,110	1,282,411
短期借入金	1,430,302	1,286,703
未払法人税等	161,347	253,351
賞与引当金	107,032	111,170
その他	627,123	839,204
流動負債合計	3,823,916	3,772,842
固定負債		
長期借入金	1,000,750	1,059,071
退職給付に係る負債	63,122	34,682
資産除去債務	65,331	65,659
その他	1,271,056	1,350,294
固定負債合計	2,400,261	2,509,709
負債合計	6,224,177	6,282,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,077,791	2,066,490
利益剰余金	11,245,427	11,445,850
自己株式	717,003	717,024
株主資本合計	14,130,675	14,319,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,869,283	2,089,429
為替換算調整勘定	83,422	73,811
退職給付に係る調整累計額	41,319	37,092
その他の包括利益累計額合計	1,911,387	2,126,148
非支配株主持分	35,117	45,812
純資産合計	16,006,946	16,400,111
負債純資産合計	22,231,123	22,682,663

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,825,854	9,913,361
売上原価	7,671,304	7,652,476
売上総利益	2,154,549	2,260,884
販売費及び一般管理費	1 1,712,179	1 1,725,761
営業利益	442,369	535,123
営業外収益		
受取利息	18,425	15,694
受取配当金	40,244	39,336
為替差益	-	32,026
持分法による投資利益	78,218	114,623
その他	21,496	27,165
営業外収益合計	158,385	228,846
営業外費用		
支払利息	16,656	15,252
為替差損	53,963	-
その他	7,956	40
営業外費用合計	78,576	15,292
経常利益	522,179	748,677
特別利益		
固定資産売却益	143,959	-
投資有価証券売却益	121,047	-
特別利益合計	265,006	-
特別損失		
固定資産除却損	0	20
固定資産売却損	-	368
減損損失	338,081	15,285
投資有価証券評価損	12,736	-
特別損失合計	350,817	15,674
税金等調整前四半期純利益	436,368	733,002
法人税、住民税及び事業税	301,986	246,096
法人税等調整額	9,247	11,321
法人税等合計	311,234	257,417
四半期純利益	125,133	475,585
非支配株主に帰属する四半期純損失()	253,294	20,214
親会社株主に帰属する四半期純利益	378,428	495,799

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	125,133	475,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,244	220,146
為替換算調整勘定	14,514	11,393
退職給付に係る調整額	3,944	4,226
その他の包括利益合計	35,815	212,978
四半期包括利益	89,318	688,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,886	709,289
非支配株主に係る四半期包括利益	259,567	20,725

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	436,368	733,002
減価償却費	201,547	129,860
のれん償却額	59,347	59,347
減損損失	338,081	15,285
賞与引当金の増減額(は減少)	3,218	4,138
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,417	5,783
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	172,354	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	6,170	8,159
受取利息及び受取配当金	58,670	55,031
支払利息	16,656	15,252
為替差損益(は益)	54,787	32,026
持分法による投資損益(は益)	78,218	114,623
投資有価証券売却損益(は益)	121,047	-
投資有価証券評価損益(は益)	12,736	-
固定資産除却損	0	20
固定資産売却損益(は益)	143,959	368
売上債権の増減額(は増加)	12,227	86,681
たな卸資産の増減額(は増加)	238,686	592,393
その他の流動資産の増減額(は増加)	15,119	188,465
仕入債務の増減額(は減少)	128,945	218,573
その他の流動負債の増減額(は減少)	73,212	198,940
その他	145,892	33,359
小計	514,077	1,382,836
利息及び配当金の受取額	61,589	83,814
利息の支払額	17,625	14,977
法人税等の支払額	306,006	149,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	252,034	1,301,746

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	143,711	538,936
有形固定資産の売却による収入	182,804	261
無形固定資産の取得による支出	20,265	3,251
投資有価証券の取得による支出	711	673
投資有価証券の売却及び償還による収入	162,311	-
長期貸付金の回収による収入	500,170	352,850
長期貸付けによる支出	530,793	383,041
その他	1,335	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	148,468	572,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	45,600	161,844
長期借入れによる収入	54,112	150,000
長期借入金の返済による支出	97,379	98,640
自己株式の取得による支出	56	21
配当金の支払額	241,673	295,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	239,397	405,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,702	6,684
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	157,403	329,758
現金及び現金同等物の期首残高	2,808,436	2,083,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,965,839	1 2,413,392

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第2四半期連結会計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
太平洋製糖(株)	487,500千円	462,500千円
南栄糖業(株)	53,873千円	千円
FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd (外貨建)	28,240千円 (8百万バーツ)	33,800千円 (10百万バーツ)

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
販売奨励金	196,697千円	178,264千円
販売手数料	69,736千円	67,123千円
貸倒引当金繰入額	102千円	410千円
運賃	285,553千円	294,993千円
役員報酬	73,232千円	69,212千円
執行役員報酬	64,823千円	62,999千円
給料手当	298,189千円	328,534千円
減価償却費	35,713千円	30,704千円
賞与引当金繰入額	89,816千円	95,071千円
退職給付費用	16,742千円	13,587千円
役員退職慰労引当金繰入額	5,575千円	千円
租税公課	46,321千円	38,322千円
のれん償却額	59,347千円	59,347千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金	2,664,909千円	2,112,301千円
有価証券勘定	300,929千円	301,090千円
計	2,965,839千円	2,413,392千円
預入期間が3か月を超える定期預金	千円	千円
現金及び現金同等物	2,965,839千円	2,413,392千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月18日 取締役会	普通株式	241,673	9.00	平成28年3月31日	平成28年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月18日 取締役会	普通株式	295,376	11.00	平成29年3月31日	平成29年6月8日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には記念配当1.00円が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,217,362	3,256,495	300,926	51,070	9,825,854		9,825,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高			827		827	827	
計	6,217,362	3,256,495	301,753	51,070	9,826,681	827	9,825,854
セグメント利益 又は損失()	690,410	50,101	267,994	54,417	853,886	411,516	442,369

(注) 1 セグメント利益の調整額411,516千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「機能性素材」セグメントにおいて338,081千円の減損損失を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,180,016	3,362,867	306,319	64,157	9,913,361		9,913,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,743		1,889		4,632	4,632	
計	6,182,759	3,362,867	308,208	64,157	9,917,993	4,632	9,913,361
セグメント利益 又は損失()	705,770	10,447	272,139	70,135	918,220	383,097	535,123

(注) 1 セグメント利益の調整額383,097千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	14.09円	18.46円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	378,428	495,799
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	378,428	495,799
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,852	26,852

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月8日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内 田 淳 一

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 円

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。